

2018 年度事業報告

【事業に関する報告】

I 子ども専用電話の開設事業

1 電話受信状況（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

専用電話は、昨年度通常総会の議決に基づき、毎週月曜と水曜の午後4時から9時までの時間帯で、原則2回線で実施しました。チャイルドライン支援センターの「夏休み明けキャンペーン」では、8月22、27、29、9月3日の4日間を午後2時から午後10時まで実施しました。

2018年度の開設日数は、延べ93日（前年度95日）で、総着信数7,905件（同7,183件）、会話成立は1,568件（同1,649件）です。1開設日当たりでは、着信数が85.0件（同75.6件）で、会話成立数は16.9件（同17.4件）となっております。

各月の受信状況、年齢層等については、以下の表のとおりです。

〔第1表 電話受信件数〕

	①総着信数	②総通話時間数	③会話成立	その他（①－③）
2018年4月	726	3,138	147	579
5月	746	4,656	132	614
6月	652	2,643	110	542
7月	612	2,890	140	472
8月	831	3,974.5	170	661
9月	578	2,891	112	466
10月	763	3,215.5	129	634
11月	762	3,072	140	622
12月	546	2,439	128	418
2019年1月	608	2,873	137	471
2月	556	2,953	130	426
3月	525	2,410.5	93	432
総計	7,905	37,155.5 (619時間15.5分)	1,568	6,337

〔第2表 年齢層〕 *発語有で会話不成立はふくまれません

年齢	男の子	女の子	不明	合計
未就学前	2	4	0	6
小学生（低学年）	38	84	0	122
小学生（高学年）	50	132	1	183
中学生	152	235	3	390
中卒～18歳	447	394	0	841
不明	16	9	1	26
合計	705	858	5	1,568
おとな				1,386
発語なし				4,951
総着信件数				7,905

〔第3表 電話の主訴（会話成立のみ）〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
学校・フリースクール	2	68	96	152	224	4	546
部 活	0	0	3	17	30	0	50
性	0	1	3	31	124	2	161
家 庭	2	14	21	56	82	2	177
職 場	0	0	0	0	9	0	9
ネットトラブル	0	0	1	3	12	0	16
地 域	0	2	4	7	9	2	24
自 分	2	37	55	124	351	16	585
合計	6	122	183	390	841	26	1,568

〔表4表 関係性（会話成立のみ）〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
友人・知人	2	63	72	120	165	5	427
恋 人	0	1	5	15	44	1	66
先輩・後輩	0	2	3	10	18	0	33
同 僚	0	1	0	0	6	0	7
実 父	0	2	7	9	24	0	42
実 母	1	5	13	36	73	1	129
養 父	1	1	0	1	3	0	6
養 母	0	0	0	3	8	0	11
きょうだい	1	5	9	15	15	1	46
義理のきょうだい	0	0	0	2	3	0	5
祖 父	0	0	0	0	1	0	1
祖 母	0	0	1	2	5	0	8
先 生	0	2	11	13	27	0	53
顧問・指導者	0	0	2	2	12	0	16
近所の人	0	0	0	1	3	0	4
施設職員	0	0	0	1	5	0	6
知らない人	0	2	4	5	6	1	18
自分自身のこと	1	32	49	141	396	15	634
その他	0	6	7	14	27	2	56
合計	6	122	183	390	841	26	1,568

〔第5表 かけ手の動機（会話成立のみ）〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
話を聴いてほしい	2	91	132	312	649	16	1,202
答えが欲しい	1	23	38	54	129	4	249

誰かとつながっていたい	2	2	4	10	32	3	53
お試し	0	4	6	9	14	3	36
社会資源情報を求める	0	0	1	1	1	0	3
実際に動いて欲しい	0	0	0	1	3	0	4
チャイルドラインについて	0	0	2	1	3	0	6
その他	1	2	0	2	10	0	15
合計	6	122	183	390	841	26	1,568

〔表6表 気持ち（会話成立のみ）〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
うれしい・たのしい	0	13	13	15	16	2	59
幸 せ	0	0	0	3	2	1	6
楽しみ・期待	1	3	4	6	13		27
満足・充実感	0	3	2	2	1		8
怒り・いらだち	0	2	9	19	36	1	67
憂 鬱	0	4	12	22	38	1	77
不 安	0	10	24	59	124	1	218
イヤだ	2	32	26	49	83	5	197
疲 れ	0	3	3	7	13		26
あきらめ	0	1	1	2	8		12
つらい・苦しい	0	3	12	40	89		144
悲しい	1	6	4	13	18		42
孤独・寂しさ	0	3	12	13	29	2	59
人目が気になる	0	0	1	10	11		22
自分に自信がない	0	1	4	12	22		39
恐怖・怖い	0	2	4	4	11	1	22
くやしい	0	2	3	6	15		26
困惑・困っている	0	18	30	42	138	2	230
葛藤・迷い・戸惑い	0	5	10	36	99	1	151
傷つきたくない	0	0	1	2	7		10
傷つけない	0	1	0				1
不 明	1	3	3	13	30	8	58
その他	1	7	5	15	38	1	67
合計	6	122	183	390	841	26	1,568

〔第7表 かけ手の端末〕

端末	総着信数	会話成立
携帯・PHS	6,011	1,180
固定・公衆	1,892	388
不明	2	0
合計	7,905	1,568

2 電話開設従事者数

電話開設に伴う従事者については、1開設日につき2時間30分ごとの2シフトとし、1シフト当たり「受け手3人」「支え手1人」を基本に編成しました。また、事務局員についても開設日を活動日とし、電話室の管理等行ってきました。

2018年度のシフト配置状況については、以下のとおりです。

[シフト配置状況]

	開設日数	Aシフト		Bシフト	
		受け手	支え手	受け手	支え手
2018年4月	8	35	8	33	8
5月	9	39	9	38	9
6月	8	30	8	32	8
7月	8	31	8	24	8
8月	9	37	9	35	9
9月	6	26	6	23	6
10月	9	36	9	26	9
11月	8	30	8	28	8
12月	7	21	7	22	7
2019年1月	7	27	7	25	7
2月	7	26	7	26	7
3月	7	31	8	30	8
合計	93	369	94	342	94

※受け手にはインターンを含む

II 研修事業

1 受け手 14期インターン研修（1月から実施・2018年度開催分を掲載）

期 間： 2018年1月16日～6月19日

場 所： 市民ホール

受講生：17名 受け手認定17名

7	2018年 4月10日(火)	講義「子どもの現状」 生きづらさを抱える子どもたち	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
8	4月24日(火)	ロールプレイ 3	北星学園大学 今川 民雄
9	5月8日(火)	ロールプレイ 4	北星学園大学 今川 民雄
10	5月22日(火)	講義「子どもの現状」 少年犯罪について	北海道警察本部少年課 少年サポートセンター
11	6月5日(火)	ロールプレイ 5	北星学園大学 今川 民雄
12	6月19日(火)	グループワーク	北星学園大学 栗山 隆

2 受け手 15期養成研修

募集期間：2018年3月1日～8月17日

研修期間：2018年8月21日～2019年1月22日

研修場所：市民ホール等、ボランティア活動センター等

受講生：7人

回	日 時	テ ー マ	講 師
1	2018年 8月21日(火)	開講式・オリエンテーション チャイルドラインとは	チャイルドライン代表 理事 今川 民雄
2	9月4日(火)	講義 「子どもの人権について」	弁護士 増谷康博
3	9月18日(火)	グループワーク 1 「お互いを知り合おう」 「伝えること、伝わること」	北星学園大学 栗山 隆
4	10月2日(火)	講義 「子どもの現状」 青年期について	札幌学院大学 村澤和多里
5	10月16日(火)	グループワーク 2 「私とあなたと違うこと」	北星学園大学 栗山 隆
6	10月30日(火)	ロールプレイ 1 電話相談を体験する ～声と声だけでできること	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
7	11月6日(火)	ロールプレイ 2 共感的な対応とは ～「聞く」と「聴く」の違い	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
8	11月20日(火)	ロールプレイ 3 自分の特徴を知る ～「癖」を見つける	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
9	12月4日(火)	ロールプレイ 4 困難なケースへの対応を学ぶ①	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
10	12月18日(火)	ロールプレイ 5 困難なケースへの対応②	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
11	1月8日(火)	ロールプレイ 6 ロールプレイの振り返り	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
12	1月22日(火)	・インターン研修の前に ・オリエンテーション①	チャイルドライン代表 理事 今川 民雄

3 受け手 15期インターン研修

期 間：2019年1月～6月

場 所：ボランティア活動センター等

受講生：養成研修を修了しインターンとして認定された3人

回	月 日	内 容	講 師
1	2019年 1月29日(火)	オリエンテーション②	研 修 部
2	2月12日(火)	ロールプレイ 1	北星学園大学 今川 民雄
3	2月26日(火)	講義「子どもの現状」 子どもたちは、今	スクールカウンセラー 中野ひろみ
4	3月26日(火)	ロールプレイ 2	北星学園大学 今川 民雄
5	4月 9日(火)	講義「子どもの現状」 生きづらさを抱える子どもたち	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
6	4月23日(火)	講義「子どもの現状」 思春期の性	北海道教育大学 佐藤由佳利
7	5月14日(火)	ロールプレイ 3	北星学園大学 今川 民雄
8	5月21日(火)	ロールプレイ 4	北星学園大学 今川 民雄
9	5月28日(火)	講義「子どもの現状」 少年犯罪について	道警本部少年課 少年サポートセンター
10	6月11日(火)	ロールプレイ 5	北星学園大学 今川 民雄
11	6月25日(火)	グループワーク	北星学園大学 栗山 隆

4 受け手継続研修

期 間：2018年5月～2019年4月

場 所：市民ホール等

受け手：39名で開始 8月より14期インターン研修認定者合流

(内容)

全体研修を3回開催したほか、グループ研修は第3木曜(羽原グループ)と第3金曜(田辺グループ)、ステップアップ研修を実施した

【全体研修】

日 程	内 容
2018年 5月17日(木)	電話に関する話し合い・その他
7月13日(金)	14期認定式・交流会
12月7日(金)	受け手、支え手交流会

【グループ研修】

第3グループ 羽原グループ

日 程	内 容
2018年 6月21日(木)	振り返り・ロールプレイ
8月16日(木)	振り返り・ロールプレイ
9月20日(木)	振り返り・ロールプレイ
10月18日(木)	振り返り・ロールプレイ
11月15日(木)	振り返り・ロールプレイ
2019年 1月17日(木)	振り返り・ロールプレイ
2月21日(木)	振り返り・ロールプレイ
3月28日(木)	振り返り・ロールプレイ
4月18日(木)	振り返り・ロールプレイ

第2金曜日 田辺グループ

日 程	内 容
2018年 6月1日(金)	振り返り・ロールプレイ
8月10日(金)	振り返り・ロールプレイ
9月14日(金)	振り返り・ロールプレイ
10月12日(金)	振り返り・ロールプレイ
11月9日(金)	振り返り・ロールプレイ
2019年 1月11日(金)	振り返り・ロールプレイ
2月8日(金)	振り返り・ロールプレイ
3月1日(金)	振り返り・ロールプレイ
4月12日(金)	1年の振り返り

ステップアップ研修 今川グループ

日 程	内 容
2018年 6月19日(火)	振り返り・ロールプレイ
8月23日(木)	振り返り・ロールプレイ
9月21日(金)	振り返り・ロールプレイ
10月11日(木)	振り返り・ロールプレイ
11月16日(金)	振り返り・ロールプレイ
2019年 1月15日(火)	振り返り・ロールプレイ
2月14日(木)	振り返り・ロールプレイ
3月19日(火)	振り返り・ロールプレイ
4月16日(火)	1年の振り返り

Ⅲ 広報啓発事業

1 「2018年度カード等全道配布事業」実施報告

チャイルドラインの電話番号（フリーダイヤル）や開設時間などを記載したカードを、道内の小学校、中学校、高校、特別支援学校に通う子どもたちを対象に、約58万枚配布しました。

カードの作成に当たっては、(株)北海道日本ハムファイターズ・ファイターズ基金が小中学生用カードを作成し、北海道新聞社からは高校生用カードと各高校への送付料の支援を受けた。また、北海道NPOファンド「越智基金」「市民活動支援基金」から7万円の助成を得ました。

配布に当たっては、北海道教育委員会と札幌市教育委員会に事前に協力を依頼し、市町村立校については道内179市町村教育委員会に送付し、国立、私立及び道立校には直接送付しました。また、札幌市の児童会館（小学校併設のミニ児童会館を除く）にも配布した。

合わせて広報誌（2018年版）を道内の教育委員会と各学校等に配布しました。

(配布枚数)

【小学校・中学校】（児童生徒数は、2017年度学校基本調査による）

		小学校			中学校		
		学校数	児童数	配布枚数	学校数	生徒数	配布枚数
総 数		1,050	245,763	265,580	603	132,053	143,200
内 訳	市町村立	1,043	243,990	263,660	583	127,423	138,350
	道立				1	237	250
	国立	4	1,641	1,760	4	1,287	1,360
	私立	3	132	160	15	3,106	3,240

※1 小学校と中学校の「市町村立」には義務教育学校の学校数（5校）と児童数、配布数を含む

※2 小学校と中学校の「私立」には小中一貫校の学校数（1校）と児童数、配布数を含む

※3 中学校の「市町村立」には中高一貫校（1校）の児童数、配布数を含む

※4 中学校の「道立」には中高一貫校の学校数（1校）と児童数、配布数を含む

【高校・特別支援学校】（児童生徒数は、2017年度学校基本調査による）

		高校			特別支援学校		
		学校数	生徒数	配布枚数	学校数	児童生徒数	配布枚数
総 数		292	126,626	139,770	61	7,691	6,910
内 訳	市町村立	31	11,768	13,130	4	305	440
	道立	201	85,244	90,330	55	7,308	6,370
	国立				1	59	70
	私立	52	29,614	31,300	1	19	30
	通信制	6		5,010			

※1 高校の「市町村立」には中高一貫校の生徒数、配布数を含む

※2 高校の「道立」には中高一貫校の生徒数、配布数を含む

※3 特別支援学校のうち「肢体不自由等」以外の児童生徒には、ルビ付きのカードを送付した（49校、5,760枚）

【盲（視覚障害支援）学校】

道内4校の盲（視覚障害支援）学校の児童生徒には、「点訳カード」と「墨字カード」を各175枚送付しました。

【札幌市児童会館】

札幌市児童会館のうち小学校に併設しているミニ児童会館を除く105館に、200

枚ずつ配布した。配布に当たっては、事前に「さっぽろ青少年女性活動協会」に協力をお願いしました。

(事業収支決算)

(収入＝495,600円)

助成金	295,600円	北海道新聞社(225,600円) 越智基金・市民活動支援基金(70,000円)
広報誌広告料	180,000円	
同 寄付金	20,000円	

(支出＝478,640円)

カード印刷費	190,980円	(高校生用、特別支援学校用)
広報誌印刷費	70,000円	(2018年版)
通信運搬費	199,277円	(宅急便、郵送分)
交通費	12,900円	袋詰め作業とカード等運搬に伴う駐車料金
消耗品費	5,483円	宅配用袋、段ボール

※1 小中生用カードの印刷は、(株)日本ハムファイターズ・ファイターズ基金が負担

(取組経過)

- 5月30日 北海道日本ハムファイターズへカード配布に関する依頼
- 6月11日 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会に後援名義の申請
- 7月6日 北海道新聞社訪問。高校生用カードの協力依頼(児玉代表・水口事務局長)
- 8月1日 北海道NPOファンド「越智基金」「市民活動支援基金」に助成金申請
- 8月26日 日本ハムファイターズによるチャイルドラインカード贈呈式(札幌ドーム)
- 10月10日 北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全グループ及び札幌市教育委員会児童生徒担当課に配布の依頼
- 10月18日 胆振、後志、渡島、桧山管内の小中高、特別支援学校475校にカード105,780枚送付
- 11月1日 石狩(札幌市を除く)、空知、日高管内の小中高、特別支援学校316校にカード88,140枚送付
- 11月15日 上川、留萌、宗谷、オホーツク管内の小中高、特別支援学校494校にカード93,430枚送付
- 11月15日 道内の盲(視覚障害支援)学校4校に「点訳カード」送付
- 11月29日 十勝、釧路、根室管内の小中高、特別支援学校338校にカード71,950枚送付
- 12月2日 さっぽろ青少年女性活動協会に、児童会館へのポスター掲示等の依頼
- 12月7日 札幌市内の小中学校205校にカード95,750枚送付
- 12月13日 札幌市内の中高、特別支援学校178校と児童会館105館にカード121,410枚送付

2019年

- 1月30日 北海道新聞社に助成金申請
- 2月14日 道内通信制学校(6校)に高校生用カード送付
- 2月19日 道内の盲(視覚障害支援)学校4校に「墨字カード」送付

【運営に関する報告】

I 会議の開催状況

1 総会の開催

2018年度（第17回）通常総会

（2018年5月25日 法務会計プラザセミナールーム 中央区大通西4・道銀ビル）

2018年度事業報告、同収支決算報告、同会計監査報告、2018年度事業計画、同予算などすべて可決し、任期（2年）満了に伴う役員を選出しました。

2 理事会

2018年度の開催は、以下のとおりです。

第1回（2018年4月27日）

- ・2018年度（第17回）通常総会の開催について
- ・総会提出議案について
- ・運営委員会規則の改正について

第2回（2018年5月25日）

- ・代表理事及び常務理事の選定について
- ・事務局長の任命報告について

第3回（2018年12月6日）

- ・2018年度（上半期）事業報告について
- ・2018年度（上半期）会計収支状況について

2019年度

第1回（2019年4月20日）

- ・2019年度（第18回）通常総会の開催について
- ・総会提出議案について

3 運営委員会

理事会業務の円滑化を図ることを目的とした運営委員会について下記のとおり開催しました。主な審議事項は以下のとおりです。

（運営委員会の開催状況）

第1回（2018年6月14日）

- ・2018年度運営委員会体制について
- ・第15期受け手養成研修の実施について
- ・「2018夏のキャンペーン」への参加について
- ・2018年度カード等全道配布事業の実施について
- ・設立15周年記念事業について

第2回（2018年7月19日）

- ・第15期受け手養成研修の実施について
- ・設立15周年記念事業について
- ・郵便振込手数料の加入者負担への変更について（当面、広告料収入だけを対象とした）

第3回（2018年8月16日）

- ・第15期受け手養成研修の実施について
- ・設立15周年記念事業について
- ・カード等全道配布事業の実施について
- ・運営委員会規則の改正について

第4回 (2018年月日)

(第2回理事会と兼ねて開催した)

第5回 (2018年10月22日)

- ・永年活動表彰について
- ・2018年度懇話会(意見交換会)について

第6回 (2019年1月17日)

- ・「チャイルドライン」商標使用更新手続きについて
- ・2018年度懇話会について

第7回 (2018年2月21日)

- ・16期受け手養成研修の実施及び受講生募集について
- ・CLHのチャットの取り組みについて

第8回 (2018年3月26日)

- ・2019年度通常総会の開催について
- ・CLHのチャットの取り組みについて

4 受け手・運営担当懇話会

2019年1月29日に18人の出席で開催。

電話室の防音対策、専用電話の日曜開設、担当表の在り方、養成研修の募集活動などをテーマに議論しました

5 設立15周年記念事業「北海道子ども支援団体連携フォーラム～子ども支援でつながろう」の開催

公益財団太陽財団の助成事業として、10月6日(土)午後1時から3時40分まで道新プラザ内の「D0-BOX」で開催しました。

児玉芳明代表理事の開催あいさつのあと、来賓として佐藤正人公益財団太陽財団の佐藤正人様からあいさつを受けました。

第1部「子ども支援の現場を語る」では、小林真弓さん(NPO法人ねっこぼっこのいえ代表)、二本松一将氏さん(札幌学院大学研究生・子ども食堂)、田辺毅彦さん(チャイルドラインほっかいどう)から、それぞれの活動報告がありました。

第2部「子ども支援を豊かにしていくために」では、北翔大学の飯田昭人さんをコーディネーターに、報告者3人によるてい談が行われました。

水口良子事務局長から、チャイルドラインほっかいどう15年の歩みを報告し、今川民雄代表理事の閉会あいさつで終了しました。

当日の内容は「報告書」としてまとめ、会員や関係団体等に配布した。

参加者は41人で外部参加者は8人でした。

(事業収支決算)

(収入=300,000円)

助成金 300,000円 公益財団太陽財団

(支出=347,388円)

講演謝礼金 120,000円 (報告者及びコーディネーター)

会場費	32,400 円	
印刷費	81,000 円	(開催案内チラシ、報告書)
報告書編集費	50,000 円	(逐語訳、レイアウト等を含む)
通信郵送費	47,602 円	(案内チラシ、報告書の郵送費)
交通費	7,000 円	(事前打ち合わせ等)
看板作製費	1,600 円	
雑費	7,786 円	(筆記用具、講師用飲物代)

※印刷費のうち「報告書」(400 部)の 70,000 円と、通信郵送費のうち報告書郵送分 33,000 円は 2019 年度の支出となった。

6 チャイルドライン支援センター関係

- (1) 支援センター2018 年度総会 (東京) 2017 年 6 月 2 日 (土)
参加者 川下理事
- (2) 北海道東北エリア会議
9 月 17 日 盛岡市
参加者 長江由美子理事
1 月 320 盛岡岡市
参加者 長江由美子理事
- (3) 全国運営者会議
12 月 8～9 日 東京都
参加者 長江由美子理事
- (4) 記録データ送付 電話部

<水口良子理事 (支援センター) 関係>

- (1) 総会 (東京) 2018 年 6 月 2 日
- (2) 理事会 (東京) 4 月 21 日、6 月 2 日、10 月 14 日、12 月 9 日、1 月 19 日、3 月 2 日の計 6 回
- (3) 事業部会 (東京) 4 月 21 日、6 月 1・3 日、7 月 23 日、8 月 2 日、10 月 13 日、12 月 7 日、1 月 19 日、2 月 8 日、3 月 2・3 日、3 月 21 日の計 12 回
・チャットワーク会議 (ネット会議) 5 月 28 日、6 月 21 日、7 月 23 日、8 月 2 日、8・月 25 日、9 月 9 日、10 月 3・30 日の計 8 回
- (4) オンライントリアル事業関係
・オンライン PT 会議 (東京) 10 月 13 日、1 月 27 日、3 月 25 日の計 3 回
・チャットワーク会議 6 月 11・18 日、7 月 27 日、10 月 10 日、11 月 21 日、1 月 11 日の計 6 回
・オンライン研修 事前研修 7 月 21・22 日 (東京) むさしの+東京
8 月 18・19 日 (栃木) とちぎ
11 月 3・4 日 (名古屋) あいち
2 月 16・17 日 (盛岡) いわて
事後研修 4 月 15 日 (大阪) とんだばやし+大阪
3 月 30 日 (東京) 定期トリアル+実行委員会
3 月 31 日 (盛岡) いわて
・事務局チャットワーク会議 (打合せ)

4月3・6日、5月8・14・15日、6月5・13・20日、7月3・10・17・24・31日、8月7・21・28日、9月21日、10月9・30日、11月13・20日、12月4・11・25日、1月8・15・22・29日、2月5・12・19・28日の計32回

- ・トライアル参加（東京） 4月20日、5月7・8日、7月20日、9月3・4日、3月4日の計7回
- ・オンライン研修アドバイザー打合せ 10月1日（福岡）
- ・オンラインネットワーク会議（東京） 6月2日、2月10日
- ・オンライン全体研修 2月9日
- ・朝日新聞取材対応 7月20日
- (5) エリア会議 9月17日 北海道・東北エリア会議（盛岡）
9月23日 東海エリア会議（静岡）
- (6) 全国フォーラム in 九州（福岡）11月10・11日
- (7) 全国運営者会議（東京） 12月8日
- (8) CLたちかわ（東京）市民公開講座講師 1月20日
- (9) 新規立ち上げ団体支援
8月～3月 電話・メール連絡 運営者研修 12月13日（山形・庄内）

II 会員等の状況

2018年度中の正会員は新たに認定された受け手など14人が新規加入しました。一般会員の個人及び団体、サポート会員も同様の取り組みにより、それぞれ新規会員が増えました。各会員の増減状況は、下記のとおりです。

【2018年度各会員数の状況】

	2018年4月初	2019年3月末	加入・退会者	増減
正会員	110人	102人	(加入) 14人 (退会) 22人	8人減
一般会員・個人	16人	14人	(加入) 1人 (退会) 1人	2人減
一般会員・団体	13団体	13団体	(加入) 0団体 (退会) 0団体	増減0
サポート会員	57人	53人	(加入) 4人 (退会) 8人	4人減

III その他

1 北海道日本ハムファイターズ・ファイターズ基金への募金活動

日本ハムファイターズから、昨年引き続きチャイルドカードの印刷資金についての支援決定を受け、2018年8月26日に札幌ドームで、日ハム・杉谷選手出席の中で児玉芳明代表理事にカード目録が手渡されました。贈呈式には早崎悦子理事も参加しました。

7月28.29日と8月25.26日の4日間、北海道日本ハムファイターズの公式戦（札幌ド

ーム) 中に、ファイターズ基金への募金活動がありました。チャイルドラインほっかいどうから延べ 19 人が参加しました。同基金から、小中学生に配布するカードの支援を受けています。

2 札幌インナーホイールクラブ

5 月 17 日の札幌インナーホイールクラブ例会に、児玉代表理事と水口良子事務局長が出席し、寄付金 10 万円を受領しました。

3 札幌南ロータリークラブ

2019 年 3 月 18 日の札幌南ロータリークラブ例会でチャイルドライン活動を紹介。水口事務局長と早崎理事が参加し、CL 活動の意義など説明しました。寄付金 10 万円を受領しました。

4 赤い羽根共同募金研修会

2018 年 6 月 19 日、赤い羽根共同募金の役員等を対象とした研修会に招かれ、児玉代表と水口事務局長が出席。チャイルドライン活動の意義等について報告しました。

5 北海道いのちの電話と市民講座

2018 年 7 月 10 日、恵庭市民会館で、市民団体のチーム SOU・ももプロ主催による講座が開かれ、今川民雄代表理事がチャイルドライン活動について講演しました。

6 認定 NPO セミナー & 交流会

2019 年 3 月 13 日、札幌市主催によるセミナーが開かれ、早崎理事と川下理事が出席し、認定 NPO 資格取得の取り組みやメリットなどについて、参加した市内の NPO 団体に説明しました。

7 札幌市子どものための相談窓口連絡会議 (事務局・札幌市子どもの権利救済事務局)

- ・ 2018 年 7 月 24 日 水口事務局長が出席
- ・ 2019 年 3 月 11 日 水口事務局長が出席

8 SNS を活用した相談体制の検討事業連絡会議 (事務局・北海道教育委員会)

- ・ 7 月 26 日 水口事務局長が出席
- ・ 10 月 19 日 水口事務局長が出席

9 メディア等の取材関係

- ・ 5 月 14 日 市政記者クラブに「15 期養成研修 応募要領」を投げ込み
- ・ 7 月 19、20 日 「北海道体験.com」花岡俊吾さんの取材
- ・ 8 月 21 日 STV の取材
- ・ 2019 年 3 月 7 日 毎日新聞の取材
 - ・ (5 月 5 日 HBC 「北海道元気人」に今川代表が出演)

IV 各部の活動報告

研修部

- ・各研修の企画運営、講師調整連絡、当日受付事務等の実施
- ・14期認定式、交流会（7月10日）
- ・15期応募者面接
- ・研修部会議
 - ・4月20日（金）・5月19日（土）・6月7日（木）・7月10日（火）・8月23日（木）
 - ・9月25日（火）・10月25日（木）・11月18日（土）・12月11日（火）・1月24日（火）
 - ・2月28日（木）・3月21日（木）、以上12回

電話部

- ・電話統計データの作成
- ・休務・辞退者及び復帰者の対応
- ・支援センター「夏休みキャンペーン」への参加対応について検討
- ・日曜開設でアンケートを実施
- ・電話部の会議開催状況
 - 4月27日（金）・5月30日（水）・6月25日（月）・7月4日（水）・8月16日（木）・9月3日（月）・10月10日（水）11月14日（水）・1月21日（月）・2月13日（水）・3月11日（月）、以上11回

広報部

- ・一般広報紙の作成・発行（2018年度版）
- ・ホームページの更新（更新等は社福法人HOPに委託）

渉外部

- ・2018年度「イオンの幸せの黄色いレシートキャンペーン」
イオン札幌苗穂店・・・・・・46,300円
（8月11日、12月11日の2回に延べ4人が参加した）
- ・北海道日本ハムファイターズ基金ウイーク参加
札幌ドームボランティア参加　7月28日　5人参加
　　　　　　　　　　　　　　　　　29日　5人参加
　　　　　　　　　　　　　　　　　8月25日　4人参加
　　　　　　　　　　　　　　　　　26日　5人参加
- ・企画渉外部会議　　3回開催

支え手会議

- ・支え手会議及び支えて研修会の開催
2018年5月31日（木）、2019年2月5日（火）、3月7日（木）

財務委員会

広報誌「チャイルドラインほっかいどう」の広告集めに注力した。その結果、34件20万円の協力を得ることが出来た。広報誌はこれまで4ページ構成だったが2018年度版は倍の8ページとして広告を掲載し、内容も充実したものになった。このほか各種団体への協力要請を行い、会員増強による収入確保に努めた。